

高齢者ドライバーと人権意識

最近、高齢者ドライバーの危ない運転が目につきます。山梨県内は自動車が日常生活の足となっているので、運転に自信がなくなったとしても、その不便さを考えると免許を返納することは難しい環境だと言えます。しかし、高齢者ドライバーの事故率は年々上がり、その運転に巻き込まれる事故も多くなっています。

先日、NHK・クローズアップ現代「90歳事故で議論再燃!? 高齢者の運転どう考える」において、「運転は自己責任であり社会に対する責任。運転免許は社会保障ではなく資格なので、その能力がなくなったら社会に対しての責任として、ご自身と家族の方も考えていただきたい」と自動車ジャーナリストの方が発言しました。

不便なのだから運転するという言い分だけでは自分勝手です。その運転能力不足によって人を巻き込む事故を起こすことがあってはいけません。そこには人権意識があって然るべきです。人を大切に思う気持ちがあれば、不便を理由にした自分中心での考えにはならないはずで。

山梨県警南部署では、65歳以上の高齢者にドライブレコーダーを貸し出し、その録画画像を見せて指導する取り組みを行っていますが、それでも免許の返納にはつながっていません。わかっているのに難しいのが実状です。これは人権意識も同じです。それが大切だとわかっているのに、つい自分勝手に考えてしまいがちです。だからこそ、私どもは継続して人権啓発を行っています。元号が変わっても、変わらぬ姿勢で人権意識の大切さを訴えていきます。私どもの活動によって、人権意識から免許の返納につながり不幸な事故が防げればという思いもあります。令和という新しい時代、人権意識が広がり「人を大切にする」社会になることを願って止みません。



甲府市で行われるパネル展・映画会

命の大切さを伝え、思いやりのある社会を目指し、継続して開催しているパネル展と映画会です。甲府市内では以下のスケジュールで予定しております。参加費等は無料です。お近くの会場にお越しください。

パネル展

開催期間 2019年7月9日(火)～7月21日(日)
開催場所 甲府市中央公民館 / 甲府市立図書館

映画会

開催日時 2019年7月20日(土)・10:30~/13:30~
開催場所 甲府市立図書館
上映作品 「未来を拓く5つの扉」(アニメ)
「誰もが住みよい社会をつくるために」

パネル展

開催期間 2019年9月12日(木)～9月25日(水)
開催場所 甲府市東公民館 / 甲府市西公民館

パネル展

開催期間 2019年12月5日(木)～12月18日(水)
開催場所 甲府市北公民館 / 甲府市南公民館

パネル展

開催期間 2019年8月16日(金)～8月21日(水)
開催場所 甲府市総合市民会館

映画会

開催日時 2019年8月17日(土)・10:30~/13:30~
開催場所 甲府市総合市民会館
上映作品 「未来を拓く5つの扉」(アニメ)
「誰もが住みよい社会をつくるために」

パネル展

開催期間 2019年11月7日(木)～11月20日(水)
開催場所 市立甲府病院 / 甲府市中道公民館

パネル展

開催期間 2020年2月7日(金)～2月20日(木)
開催場所 甲府市役所 / 甲府市南西公民館

※開催時間や休館日については、それぞれの施設により異なります。掲載内容は予定です、変更する場合がございます。



※人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。

協賛：山梨県、甲府市、甲斐市

国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ブランチ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp

会員企業：株式会社成心設備、西関東開発株式会社、株式会社ウィルマート、株式会社 R&C

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立敷島小学校 (女子)

私は人権という言葉は知っていましたが意味は知りませんでした。人、人、人がもっている権利のことだと知りました。一人一人ちがう考えをもち、3人ならば、3種類の考え方があふ、35億人ならば、35億種類もの考え方があふことを学びました。心に残ったのは国境なき医師団という団体についてです。理由は、国境なき医師団の人たちは、国境関係なく、災害やテロなどがあつた時に、その国に行き、できるだけ多くの人の命を救っている所がカッコイイと思いました。しかもいつ自分が死ぬかわからないかわからなりの、危ない地域へ行き、大人活動をしている人たちがいてびっくりしました。私は、自分の死を覚悟しても行かないと思つてます。人はだれでも長生きしたいと思う物です。なので死を覚悟だつたとしても私はまゝと行かないのでその人達がすこゝとと思いました。この国境なき医師団の人たちがいることによつてたすかる人も多りのではないかと思つてます。さらにこのことだけではない、難民の入がかつす用のキャンプ所やそこでくつす人々の、栄養かんりまでしてつてます。そして、なくした人のあとかたづけました。その国のことを思ひやり、それを行つたに物々する人なごまかいところまで、国境なき医師団の人達はやっています。そこで、私達国民も国境なき医師団を見習い、自分の生活をあらためていくことが、必要だと感じました。

甲斐市立敷島小学校 (男子)

わたしは、人権という言葉の意味をさつがしく知つていたけど、「命と幸せを守るけん」ということだと分つてきました。この意味をさつと覚えようと思つてます。いつも「あたりまえのことだ」と思つていたことは、いつもだけががやつてくわつてくる年々「あたりまえのことではない」と先生が言葉をこつている中だつて思つてました。映像を見たときに思つたことは、自分の命をさつても人を助かしようとしてる姿に感動しました。そして差別をしないで、人を助かせるやり方にも「なんつていいんだらう」と思つてました。えんぴつや消しゴムもあるのが「あたりまえのことだ」と思つていたけど、「あたりまえのことではないことだ」と感じました。これがら、先生のおつした「おとしさ」を頭に置いておきなから生きていこうと思つてました。